

2014. 1. 10

## 2014年新年賀詞交歓会／挨拶

J A B M 会長 芳賀 美次

会員の皆様、改めまして 明けましておめでとうございます。

本日は、日本ボンド磁性材料協会の賀詞交歓会にご出席いただき、ありがとうございます。日頃より会員の皆様のご支援とご協力のお陰で、協会運営も大略スムーズに行われていると思っております。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

また先程は、「新春公開セミナー」でご講演いただきましたが、近未来が大変楽しみになりました。ありがとうございました。

それでは恒例になりましたが、年頭に当たりまして、一言協会の活動状況と当協会が集計致しました、2013年のボンド磁石の生産推定を簡単にご報告致します。

まず協会の事業活動状況であります。活動の基本は、2013年度も「会員にお役に立つ協会」をコンセプトにして活動して参りました。

主な事業活動は、5事業であります。各事業担当者の大変な頑張りで、計画通り実行しました。2013年も改善すべき所は改善して着実に進化したと思っております。その5事業の活動を簡単に申し上げます。

- ① 講演会は、例年通り年4回行いました。この4回の講演会では、24名の講師の方々にお世話になりました。
- ② 軟磁性材料研究会は、2012年に発足しましたが、2013年は、3回／年の勉強会と9月の軟磁性関連の技術例会を行うなど活発に活動しました。
- ③ 教育活動の「寺子屋BM塾」は、徳永塾長代行と技術委員の協力で年6回、合計18時間の勉強を行いました。
- ④ 機関誌発行は、例年通り年2回発行しました。全ページカラー印刷の BM NEWS は、会員の皆様からも大変好評をいただいております。
- ⑤ 最後は、ボンド磁石生産出荷統計の集計であります。近年ますます情報が得にくい状況の中で、苦勞しながら集計しました。この後に報告させていただきます。

以上大変 簡単ですが、2013年も特に問題なく、活発にそして成功裡に活動を行ったと報告して良いと考えます。

続きまして

【2013年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産推定】を報告します。

公式には、4月の BM NEWS に掲載しますが、今日は、概略を報告します。

### I. ボンド磁石の全般的動向

2013年の日本国内におけるボンド磁石の生産は、景気回復や需要増に伴い一般的に回復し、伸びた。

- ① フレキシブルフェライト系も復調した。数字は後で述べる。
  - ② リジッドフェライト系は、OA関連やエアコン等の伸びもあり、全体的に伸びた。
  - ③ 希土類系ボンド磁石は、異方性材料が伸びたこともあり、全体として増加した。
- この様な背景から、日本国内におけるボンド磁石全体の生産量は、2012年の9300(t)に対して、2013年は、10,400(t)に増大し、前年比112%であった。

また、日系メーカーの海外生産も増大した。増大した背景には、一つは需要増があったこと、その他に①EUの金融不安が一服したこと、②タイの洪水による被害も復旧したこと、③中国の反日騒動も比較的鎮静化していることなど、複合的要因も影響していると判断しました。

なお、希土類原料の価格が落ち着いてきたことから、2013年の希土類ボンド磁石の生産推定に3年ぶりに、金額も報告することにした。

以上が全般的動向である。

## II. ボンド磁石の分野別動向

### 1. フレキシブルボンド磁石

2012年の国内生産数量は、2500(t)であったが、2013年は、2700(t)で前年比108%とした。日系メーカーの海外生産は、2012年には、4億6千万円としていたが、これは情報不足のデータであったので、実際より少ない金額を報告していた。そのようなことで、2013年は大幅な修正を加えて、10億5千万円とした。

### 2. リジッドフェライトボンド磁石

2012年の6000(t)に対して、2013年は6800(t)で、前年比113%と推定した。伸びの要因としては、エアコン20%増、磁気ロール10%増、センサー・小型モータの増加などを挙げることができる。

日系海外生産も同様に堅調であった。日系海外のリジッドボンド磁石の生産金額は、94億円で、前年比111%と推定する。

### 3. 希土類ボンド磁石

2012年の国内生産は、800(t)であったが、2013年は異方性材料の伸びがみられ、全体として900(t)、前年比113%と推定した。

日系メーカーの海外生産は、(一部閉鎖していた日系メーカー工場の再稼働などもあり)、2012年の3200(t)に対して、2013年の出荷数量は3600(t)、前年比113%、金額は、500億円と推定する。

以上が分野別ボンド磁石の動向である。因みに2013年のフェライトと希土類

ボンド磁石の合計金額は、国内が約294億円、日系海外が約605億円で、概略900億円と推定する。

以上で生産推定値の報告を終わります。

最後になりますが、2014年は、特に大きな行事はなく、設定した事業計画を着実に実行しますが、何らかの新しいことをしたいと考えております。この新しいこととは、女性のお力を借りたいということであります。昨年は、講演会を4回行い、24名の講師の方々をお願いしましたが、女性の講師は一人もおりませんでした。当協会の講演会は、今日まで100回を超えと思いますが、私の記憶では女性講師は、韓国人で上海大学の先生が一人だったと思います。安倍政権は、昨年「今後の成長戦略の軸に女性の活用」を挙げました。当協会は24名の講師の内、まずは2名位を目標にしたらいかがでしょうか。今年は先ほど東京都市大学、準教授の伊東明美氏に講演していただきましたので、あと一人、皆様からもご推薦を期待しております。安倍政権より一歩早く実行し、また協会の活力をさらに高めるためにも、今年の大きな目玉にしたいと考えます。是非どなたかご推薦お願いします。

以上大変長くなりましたが、今年は午年で飛躍の年であります。会員の皆様の新たな飛躍の年になりますことを祈念し、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い致します。ご静聴ありがとうございました。